

## いじめゼロをあなたから！

### いじめ防止月間でピンクTシャツ運動

7月3日、市内6中学校の生徒で構成するPSCパトロール隊が、JR白石駅前「いじめゼロ」を訴えるピンクTシャツ運動を行いました。昨年12月に本市では「いじめゼロ宣言」を採択し、7月と12月をいじめ防止月間として取り組みを強化。この日は、15人の生徒が白石警察署の署員などと一緒に、「いじめゼロをあなたから」と書かれたメッセージが入ったポケットティッシュを市民などに手渡しました。参加した生徒は「僕たち中学生が積極的に活動することで、市民の皆さんに伝わっていくと思います」と話してくれました。



1\_いじめゼロを訴え、ポケットティッシュを配る中学生たち  
2\_ピンクTシャツは世界的にいじめ反対運動の証

## 白石和紙づくりを学びました

### 白川中学校で「志教育講演会」

6月20日、白川中学校で「志教育講演会」が行われました。この講演会は生徒が白石市の伝統に触れ、将来を考える材料にしておうと毎年実施。本年度はまちづくり団体「蔵富人」の阿部桂治さんが講師となり、近年団体に取り組んでいる「白石和紙づくり」について講演されました。阿部さんは「大変なことがあっても仲間と楽しみながら乗り越えていけば、必ず次につながります」と激励。生徒は「白石和紙についてとても勉強になりました。これから大変なことがあっても負けずに、将来に向かって頑張っていきます」と話してくれました。



1\_蔵富人では和紙の原料づくりから手がけています  
2\_触れてわかる白石和紙の丈夫さとあたたかさ

## うーめんをもっと好きになってね

### きちみ製麺が市内全園児に温麺をプレゼント

7月7日、株式会社きちみ製麺（吉見光宣代表取締役社長）が市内全保育園児に白石温麺をプレゼントしました。この取り組みは、平成26年3月に制定された「奥州白石温麺振興条例」に、毎月7日を「うーめんの日」としたことにちなんで、昨年からは行っています。

越河保育園で行われた贈呈式で吉見社長が、園児一人一人に温麺を手渡しました。園児たちは、お礼に「白石うーめん体操」を披露。吉見社長は「子どもの頃から温麺に親しんでもらい、大人になってもずっと温麺を好きでいてもらえるとうれしいです」と話してくれました。



▲園児一人一人に温麺をプレゼントする吉見社長

## 笹巻きづくりを体験！

### 武家屋敷で「笹巻きの会」を開催

6月25日、武家屋敷「旧小関家」で「笹巻きの会」が行われました。この催しは「ヘルスメイト白石」の協力を得て、白石の伝統食「笹巻き」の試食や巻き方体験が行われています。この日は市民や観光客など約100人が来場。笹やいぐさの巻き方に悪戦苦闘しながらも、出来上がりの達成感に笑顔があふれていました。試食は囲炉裏を囲んで振る舞われ、子どもから大人まで、笹の香りともち米の食感を堪能していました。来場者は「笹巻きを食べると懐かしい気持ちになります。武家屋敷の雰囲気も良く、和やかに過ごせました」と話してくれました。



▲巻き方を教わる観光客。出来上がりはきれいな三角形に！

## 文化の違い肌で感じて

### オーストラリア友好親善訪問団結団式

7月12日、市内の中学生10人がオーストラリアを訪問し、交流を行うプログラム「オーストラリア友好親善訪問団」の結団式が行われました。結団式では、団員の代表が「ホームステイでは積極的に話をして、将来のために英語力を付けて帰ってきたいです」と抱負を述べていました。さらに事前研修の成果として、英語によるスピーチや、交流会で発表する「よさこいソーラン」を披露。団員たちは、7月26日から8月3日までの日程でシドニーやカウラなどを訪れ、ホームステイや現地の学校に体験入学などをして帰国する予定です。



▲出発に向け、全員でガッツポーズをする団員たち

## 結成100年を記念して

### 白石益岡ライオンズクラブが市内小学校に寄付

6月22日、白石益岡ライオンズクラブが市内小学校にハンズフリー拡声器4台を寄付しました。世界的に社会奉仕活動を行っている「ライオンズクラブ」が結成から100周年を迎え、白石益岡ライオンズクラブはその記念として、市内の児童の教育活動を応援する備品を寄付しました。高橋正衛会長は「学校で使いやすい備品を選びました。子どもたちのために役立ててください」とあいさつ。武田教育長は「現場で使い勝手がいいものを寄付いただきました。授業や学校行事で大いに役立てていきます」と感謝していました。



▲児童へハンズフリー拡声器を手渡す高橋会長

## ホテルの光が待ちながら、楽しい夏の夜を過ごす

### 福岡・白川でホテルまつり

6月18日、白石薬師堂ホテルの里を守る会（村上隆会長）と白石温泉薬師の湯共催の「第15回ホテルまつり」が白石温泉薬師の湯で開催されました。薬師の湯で行われた開会式には市内外から約200人が来場。アトラクションとしてバンドグループパレットのなつかしのサウンドや、よさこい走乱白石城の雄大な演舞などが披露されました。来場者にきなこ餅やアイスキャンディーが振る舞われるなど、大人も子どもも楽しめるお祭りとなりました。

ホテルの観賞地までの道路には、福岡小学校の児童などが製作した花灯路約150個が飾られ、幻想的な雰囲気を醸し出していました。この日は、気温が低かったため確認できたホテルは10匹ほどでしたが、薬師堂地区では、この時期幻想的な光景を見ることができます。

また、7月1日、白川小奥地区で「第7回石神社ホテル観賞のつどい」が開催されました。この催しは地区有志で結成された「白川小奥環境資源保全隊」が主催し、ホテルを題材に自然環境の大切さを伝えるため毎年行われています。この日は地区から約40人が集まり、夕方からは子どもたちの工作や詩の朗読、手作り紙芝居などが披露されました。日が落ちてからは、周辺の水田や川沿いを散策し、飛び交うホテルの淡い光を観賞しました。

子どもたちはホテルの数を数えたり、捕まえようと追いかけたりと、初夏の夜を楽しんでいました。



1\_「ホテルまつり」のアトラクションで演舞を披露するよさこい走乱白石城 2・3\_「石神社ホテル鑑賞のつどい」では紙芝居、暗闇で光る人工ホテルの工作など楽しい遊びがいっぱいでした